

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和3年3月23日

計画の名称	豊かな自然と共生する生活基盤の整備を図る下水道事業の推進			重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度 ～ 平成29年度（2年間）	交付対象	西条市	
計画の目標				

西条市の目指す将来都市像を『人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市』とし、そのさらなる発展のためのまちづくりスローガンとして、～創ろう 最上のまち 西条を！～を掲げ、豊かな自然と共生するまちづくりを目指して、水環境の整備保全及び安全で快適な生活環境を提供でき、四国八十八箇所霊場や四国別格二十霊場を巡礼する方に快適なトイレ環境を提供することができる下水道事業に取り組んでいます。  
 そこで本計画においては以下の点を計画目標に掲げ、社会資本整備事業を推進してまいります。  
 ①生活環境の改善・普及率の向上

計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を58.1%から60.4%に向上												
定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率の向上＝計画最終目標年における処理区域内人口／目標最終年の行政人口 （総人口のうち、下水道施設が利用できる人口の割合）										定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H28当初) 58.1%    中間目標値 -    最終目標値 (H29末) 60.4%		備考
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,086百万円	A	1,086百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制 西条市において評価を実施												
	事後評価の実施時期 令和3年3月												
	公表の方法 西条市のホームページにて公表を行う												

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	R02				
A-1-1	下水道	一般	西条市	直接	西条市	管渠(污水)	新設	未普及解消下水道事業（西条処理区、東予・丹原処理区）	管渠整備 L=7.5km	西条市						727	-	-	
A-1-2	下水道	一般	西条市	直接	西条市	処理場	新設	資源循環形成下水道事業（東予・丹原浄化センター）	汚泥処理施設	西条市						267	-	-	
A-1-3	下水道	一般	西条市	直接	西条市	管渠(污水)	新設	調査設計	管渠設計等	西条市						92	-	-	
											合計					1,086			
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考			
										H28	H29	H30	H31	R02					
											合計								
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考			
										H28	H29	H30	H31	R02					
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H28	H29	H30	H31	R02			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
<b>2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>																
I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況				汚水管渠の整備を効率的に実施した結果、下水道人口普及率が57.3%(平成28年度当初)から58.0%(平成29年度末)に0.7ポイント上昇し、水環境の整備保全及び安全で快適な生活環境の向上を図ることができた。												
II 定量的指標の達成状況				指標①(改築事業における計画道路の整備率)	最終目標値	60.4%	目標値と実績値に差が出た要因	計画と実施の工事単価差や人口減少により、計画策定時の目標値と実績値に差が出た。								
					最終実績値	58.0%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																
<b>3. 特記事項(今後の方針等)</b>																
今後も汚水管渠の整備を促進し、下水道普及率の向上を図ることで、水環境の環境保全及び安全で快適な生活環境の実現を目指す。																